

公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 部分公開
	<input type="checkbox"/> 非公開	

## 浜松市基地対策協議会代表委員会会議録

- 1 開催日時 令和元年7月12日（金）午後2時00分から午後3時00分
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 全員協議会室
- 3 出席状況 代表委員 23人
- |           |             |            |
|-----------|-------------|------------|
| 鈴木 康友（会長） | 柳川樹一郎（副会長）  | 鈴木 伸幸（副会長） |
| 鳥井 徳孝     | 北野谷富子       | 須藤 京子      |
| 波多野 亘     | 高林 修        | 鈴木唯記子      |
| 井田 博康     | 小黒 啓子       | 倉田 清一      |
| 斉藤 清明     | 鈴木 育男       | 鈴木 恵       |
| 関 イチロー    | 遠山 将吾       | 花井 和夫      |
| 平間 良明     | 松本 康夫       | 山崎とし子      |
| 和久田哲男     | 山下 昭一（市民部長） |            |
- 関係課長等 5人
- |          |      |        |      |
|----------|------|--------|------|
| 幼児教育・保育課 | 尾田課長 | 道路企画課  | 菅谷課長 |
| 南土木整備事務所 | 永井所長 | 消防局警防課 | 猪又課長 |
| 教育施設課    | 袴田課長 |        |      |
- 南関東防衛局 11人  
自衛隊浜松基地 3人
- 事務局（市民生活課） 7人  
松野課長 松本課長補佐 渥美市民安全グループ長  
市民安全グループ員（伊藤、松本、吉田、眞瀬）
- 4 傍聴者 委員1人、報道機関4社
- 5 議事内容 (1) 平成30年度 基地周辺整備事業実施結果について  
(2) 令和元年度 基地周辺整備事業実施予定について  
(3) 第41教育飛行隊の美保基地から浜松基地への移動について
- 6 会議録作成者 市民生活課市民安全グループ 伊藤
- 7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 有

## 8 会議記録

代表委員、他の発言は次のとおり

会長（市長） 開会挨拶

会長（市長） はじめに議題1の「平成30年度基地周辺整備事業実施結果」について、事務局から説明をお願いします。

事務局  
（松本補佐） 議題1の「平成30年度基地周辺整備事業実施結果」についての概要説明。

会長（市長） 何かございますか。

委員 特になし

会長（市長） 御質問、御意見もございませんので、御了承をいただいたものとします。議題2の「令和元年度 基地周辺整備事業実施予定」について、事務局から説明をお願いします。

事務局  
（松本補佐） 議題2の「令和元年度 基地周辺整備事業実施予定」について概要説明。

小黒委員 防衛施設周辺整備全国基地協議会の各都市からも、要望があると思いますが、障害防止事業の全額補助または補助率の引き上げと事務手続きの簡素化をお願いしたい。また加えまして、音の調査のことにつきましてもお願いをしてきております。

全国協議会から同じ内容が何度も繰り返しあがってきているということは、改善が見られていない。それに尽きるのではないかと思います。各市があげております要望事項についてどのように検討されて、どのような御回答がされているのか1歩でも2歩でも前に進んでいる内容がありましたら教えていただきたい。

南関東防衛局 全額補助の御要望はございますが、現時点において全額補助ということになっておりません。騒音の程度

南関東防衛局           を調査した上で、1級2級3級といったような区分で現在対応させていただいているところです。  
御要請は都度いただいておりますので、防衛本省の方にも伝えながら、見直すことがよいのか、できるのかといったことも、引き続き検討したいと思います。

それから騒音の調査というお話をいただきましたけれども、以前から御説明させていただいておりますT400の移動に関しまして、騒音の調査をやりたいと考えております。

これにつきましては、市当局の方とも騒音計の設置場所などの詳細をご相談させていただきながら進めてまいりたいと考えております。

よろしく申し上げます。

小黒委員               この会議は毎年行われておまして、毎年同じ要望が繰り返し出されております。御承知だと思います。1歩でも2歩でも前進したものがいいのかとお聞きしたのは、一切進んでいることが目に見えてこない。ガス抜きでやっているわけではないのです。実際に多くの皆さんが困って、市もそれを受け入れて国に要望しているということです。例えば、事務手続きを簡素化してほしい。このような要望についてはすぐにでも検討してやろうと思えばできることではないかと思うのですが、そういうおつもりがあるかどうか、確認をしたいと思います。お願いします。

会長（市長）           事務手続きの問題でよろしいですね。南関東防衛局回答をお願いします。

南関東防衛局           すみません。先程、事務手続き簡素化のお話もありましたが、御回答をできておりませんでした。事務手続きの簡素化につきましては、住民の方々に提出いただく書類の項目省略化など、これまでも少しでございますけれども、できる部分については、改善をしてきたところでございます。

今後も省略化に引き続き努力してまいりたいと考

南関東防衛局

えております。

また、事務手続き上で、住民の方々に何らかの不都合が生じた場合には、当局あるいは、事務所において具体的なお話も聞かせていただきたいと考えております。御意見を受けながらできる部分については、努力してまいりたいと考えております。

小黒委員

今のところについては真剣に受けとめていただいて積極的に各自治体の要望を取り入れるという方向で是非検討をお願いします。

あわせて9条関係の所です。この9条関係では、浜松市の合併に際しまして、基地の面積比率の問題が大きく影響し、合併後10年過ぎて以降、調整交付金が減額されるという話になりました。市長も大変努力していただきまして、項目、基準について変更したらどうだというお話をさせていただいております。

これはまだ実っていないため、繰り返しの要望となります。浜松市は本当に広い範囲の合併になったけれども基地周辺の住民が受ける影響は、広大な市域を持つ浜松市になって緩和されたのかという点では、全くそうではありませんので、算定時の内容については、是非、見直しをお願いしたいというところです。

その状況がどうなっているかをまず一点お聞きし、それからもう一点9条関係では基地が持っていますいろいろな施設があります。

調整交付金については、固定資産税若しくは都市計画税の代替的な要素も含むということから、通信施設や教育施設について、そこの分母に入れる、算定の基準に入れるということを是非やっていただきたいということが全国基地協議会で去年も同じように出されております。

それについてはどういうお考えであるのか、その2点を伺います。

南関東防衛局

9条の調整交付金の件ですが、浜松市は平成17年4月に12市町村で合併し、これに伴って9条交付金の計算項目の中で、面積の関係で交付金自体が下がっ

南関東防衛局

てしまうというようなことが生じております。

合併後10年間、平成27年度までは緩和措置を適用しましたが、平成28年以降は、その部分がなくなり、交付金自体は下がったということになっております。この御要望は、以前からお伺いしております。また、市長からも防衛本省の方にも御要望いただいております。

しかしながら、合併の有無や同規模の市町村との公平性というような観点を考慮すると難しいと御説明させていただいております。現時点におきましては、計算基準等の変更はございませんので、非常に難しいということは御理解いただきたいです。

こういったお話がありましたことを、これは全国的に関係する案件でございますので、防衛本省にも伝えてまいりたいと考えております。

また、対象になる施設については、現在市町村の面積や人口、基地の運用に関わる部分を交付金の計算の基礎としております。今お話があったような観点も交付金全体の仕組みを検討していく中で、そういった要素というのにも考慮することはあり得ることだとは思いますが、先程のお話を含めまして防衛省本省の方にもお伝えしておきたいと思っております。

会長（市長）

面積要件の問題はなかなか要望して解決できないので、こういう問題こそ国会で、国会議員がきちっと問題意識を持って議論してもらった方が、善処されると思います。予算委員会、予算委員会の分科会などこうした課題について、議論する場はたくさんございます。防衛委員会もあります。是非そういうところで、議論していただきたいと思っております。

会派の皆さんにも、地元選出の国会議員にもそうした点をお伝えいただいて、国会で取り上げていただければと思います。

会長（市長）

他に御質問、御意見はありますか、和久田委員。

和久田委員

湖東和合線について、お聞きしたいと思っております。こ

和久田委員                   の道路は航空自衛隊南側の道路で、利用者らが年々増加しております。高校生の利用も多く、交通時間の事故が心配されております。

                                  こうした状況の中、富塚、神久呂、伊佐見の3自治会連合会から交通渋滞及び交通安全の道路整備に対する要望を、平成23年8月に浜松市長に、平成26年4月に防衛大臣に提出をしております。

                                  現在は、関係者の御努力によりまして、平成30年1月に防衛省、浜松基地、浜松市の3者により、航空自衛隊浜松周辺の道路整備に関する覚書が締結されているところであります。この整備につきましては、2.45kmを整備し、片側3m歩道が設置されるという状況になっております。現在は道路と基地内の測量が終わりまして、今後は浜松基地の用地の割譲について、話が進められていると聞いております。

                                  道路利用者や地域住民が安心して生活できる環境作りを今後とも御協力をお願いいたしたいと思いません。よろしく願いいたします。

会長（市長）                 これは、御意見、御要望ですか。

和久田委員                   はい。

会長（市長）                 他に御質問等がございますか。よろしいですか。

                                  それでは、議題の3の第41教育飛行隊の美保基地から浜松基地への移動について事務局から説明をお願いいたします。

事務局  
（松本補佐）                 「第41教育飛行隊の美保基地から浜松基地への移動」について概要説明

会長（市長）                 現状の報告及び今後の予定について、南関東防衛局より説明をお願いいたします。

南関東防衛局                 現状の報告及び予定について概要説明

【以下説明概要の要約】

- ① 「安全管理」「騒音対策」「生活環境整備」について  
浜松市から要請を受けていること。
  
- ② 「安全管理」について  
航空機事故を防止するための航空機の整備、操縦の基本手順の徹底、安全管理及び操縦士への教育について徹底実施したい。
  
- ③ 「騒音対策」について  
既存の教育カリキュラムの見直し、シミュレータによる訓練の実施及び他の飛行場を利用した訓練の検討により、離着陸をできるだけ低減したい。  
現在、検討中だが、航空自衛隊の飛行教育全体の見直しの中でT-400による教育期間の短縮や離着陸回数が減少する見込みとなっている。できればその様な方向になるよう引き続き検討したい。  
部隊の移動前までに引き続きしっかり検討を進め皆様に御説明できるようにしたい。  
住宅防音工事を推進している。引き続き必要な予算の措置に努めていきたい。
  
- ④ 「生活環境整備」に関して  
特定防衛施設周辺整備調整交付金については、第41飛行隊移動に伴う駐機場の整備等の状況やT-400練習機の配備など浜松基地の運用の状況を踏まえ基地周辺地域における生活環境又は開発に及ぼす影響を十分に考慮してまいりたい。  
道路改良工事など防衛施設周辺整備事業については、地元の皆様方や浜松市の御意見をよく伺いながら、対応したい。  
基地周辺にある移転跡地の植栽樹木等の剪定、除草を行い、地域の方々に御迷惑おかけしないよう引き続き適正管理に努めてまいりたい。

南関東防衛局

- ⑤ 4 1 教育飛行隊に移動に関する状況  
令和2年度の移動を目指している。

小黒委員

地域への説明会をやっていただいた中で、多くの皆さんから様々な声が入ったと思います。

浜松市もそれを含めて2018年5月には、3つの大きな項目で配慮するよということなので要請をしていると思っています。

特に生活環境に支障をきたさないような騒音の対策の要請に関して、部隊の移動後、住宅防音工事対象区域の見直しのために騒音の測定を実施して、建築年次にかかわらず対象とする。今までは一定の条件がありましたので、後からそこへ新しく家を建てた方などは対象にならなかったが、ここは、大きく動き出したという思いがします。

しかし、実際には2021年3月までに移動を完了するという当初の予定はそのまま動いてきていると思います。実は、昨年11月に南関東防衛局に電話で、どういう状況で動くのか質問をしました。今お話あったとおりの動きとそれとあわせて、移転をする前に第1種の区域以外に騒音の測定をする箇所を4ヶ所設けて騒音測定の実施をしていくというお話がありました。それが今の説明ではなかったことと、区域の指定のところで大きく動くと思いますが、ここを少し丁寧に説明していただきたいと思います。

南関東防衛局

まだ最終的に確定はしていませんが、区域の内外4か所程度の場所に測定器を設置しまして、騒音の状況を把握したいと考えております。

これは、その後の区域の見直しが必要になってくるのかという判断に結び付けていくことになると思いますが、設置場所等の詳細につきましては、市の担当の方と今後調整して進めてまいりたいと考えております。

防音工事の対象になる、ならないというある種、不公平感といいますか、区域を引いた時点でこれは浜松市に限らずですが、実際にそういう部分があるわけで



南関東防衛局

ございます。仮に今予定をしております騒音測定をやった後に、やはり見直しは必要でないかということになれば、改めて区域の指定をし直すというようなこともございます。

いずれにしましても、騒音測定しながら状況把握し、検討してまいりたいと考えております。

小黒委員

騒音のことについてお尋ねしたいと思います。実際にはT400を10機配備されることによって、現状の2,100回の離着陸回数が2,700回に3割増えるということで、住民説明会では多くの皆さんからそんなに増えるのかという声がありました。

今回、国の方ではその内容についてはシミュレータを活用して、また他の飛行場を利用して離着陸の回数を減らしていくというお話でした。

今のお話で、いつまでにどの程度それがわかるのかということをお尋ねしたかったのですが、移動前までにシミュレータなどの活用で色々と計算してみたら、この2,100回が2,700回にはならないで、もっと少なくなるというような数字を出していただけるのかなと思いました。その辺についてお考えがあればお聞かせください。

そしてもう1つは、暖気運転のことです。基地の本当に近くにいらっしゃる方からは暖気運転、これは。とにかく7時になればバーッと動き出すわけですが、その前にエンジンをかけて始動する時の音が非常にうるさいということを伺っております。一定の壁を作るとか音を小さくさせるような消音のための工夫ができないかという声が説明会でたくさんありました。それについては記載がありませんので、どのようにお考えになっているか2点伺います。

南関東防衛局

41教育飛行隊が移ってきた後の回数が、約3割ほど増えるのではないかという今の見通しを住民説明会でもお話させていただいております。先程、現状の対応状況の中でお話しさせていただきましたように、シミュレータを活用した訓練とか、他の飛行場を

南関東防衛局

使った訓練あるいはカリキュラムの見直しの中で、できる限りその3割を減らしていきたいと考えております。

説明の時期については、移動前までということですが、航空自衛隊の方で検討させていただいておりますが、御説明できる状況になるべく早くして、皆様に説明させていただきたいと考えております。

エンジンの暖気の件ですが、現時点では私どもはそういったお声を伺っていませんが、委員からお話がありましたように壁を作る、あるいは、エンジンを始動した時に使うような施設というの、施設によってはないわけではないです。

具体的にどういうことができるか、あるいは、何かを作るということであれば予算的なこともございますし、場所をどういうところにするかとかいったことの検討もあるかと思えます。まだ今の時点で具体的にはなっておりませんが、航空自衛隊ともお話をさせていただきたいと思えます。

会長（市長）

それ以外には何かありますか

小黒委員

1点だけお尋ねします。

2018年の12月10日の午後ですけれども、オスプレイ2機が突然、航空自衛隊浜松基地に着陸しました。燃料の補給だということですがけれども、私どもすぐ国、南関東防衛局に対しても、それから市長に対しても要請書を出しました。住民に対する周知の問題です。航空自衛隊浜松基地に米軍機が来るということについては、担当の市民生活課とも当然、色々やりとりをしていると思いますが、丁寧にやっていただきたい。また、日米共同作戦の基地には浜松はなっていないのですけれども、突然そういう飛行機が飛来するというようなことが、今後もあり得るのか。今回はその救援のための緊急の燃料補給の着陸という説明がありました。実際には予備タンクもありまして、その緊急に燃料を補給するために立ち寄るってことがあるのか合点がいかないところでした。

